

平成 20 年 11 月 13 日

1 1 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

所長の高橋でございます。本日、私からは3点申し上げます。

まずは、「系統機能試験の実施状況」についてです。

当発電所7号機につきましては、9月18日より、関連する機器を組み合わせた1つの系統を運転することによって系統全体の性能が発揮されることを評価する系統機能試験を開始しており、これまでに全23項目のうち燃料装荷の前提となる14項目の試験を実施いたしました。

今後は、燃料を装荷した後、原子炉の安全機能として重要な「止める」機能を確認する系統機能試験を実施いたします。

当発電所では、現在、11月8日から17日までの予定で7号機の燃料装荷作業を進めており、燃料装荷が完了次第、これらの試験を順次実施してまいります。

また、6号機につきましても、現時点で実施可能な機器レベルの基本点検がほぼ終了しており、11月5日には、系統機能試験の評価項目等を追加した改訂版の点検・評価計画書を国へ提出いたしました。

当発電所といたしましては、今後も計画的に系統機能試験を実施し、その評価結果を国や県の委員会等に報告するとともに、定期的に進捗状況をお知らせしてまいります。

2点目は、「発電所の安全性を向上するための工事」についてです。

発電所の安全性を向上するための耐震強化工事につきましては、6号機と7号機において、配管等サポート強化をはじめとする5項目の工事を実施しております。

このうち、7号機につきましては、11月3日に、現在までの評価で抽出された対象箇所についての耐震強化工事が完了いたしました。

なお、7号機の原子炉建屋や安全上重要な機能を有する耐震Sクラスの主要な設備等につきましては、新しい基準地震動に基づいた耐震解析を実施した結果、耐震安全性が確保されていることを確認しており、11月4日に評価結果の中間報告書を国へ報告しております。今後も引き続き耐震安全性評価を実施し、最終報告書を国へ提出する予定です。

また、6号機につきましては、先月末までに原子炉建屋屋根トラスと排気筒の強化工事が完了しており、配管等サポート強化の対象となる約2,600箇所についても、5割程度の工事が完了しています。

当発電所といたしましては、今後、他号機も含めた耐震強化工事を順次実施するとともに、基準地震動や耐震安全性評価に関する審議状況を適切に反映し、必要に応じて耐震強化の対象箇所や内容の見直し等の対応を行ってまいります。

3点目は、「中越沖地震関連の不適合の処理状況」についてです。

中越沖地震関連の不適合事象は、軽微なものまで全て含めると、約3,600件確認されておりますが、当発電所では現在、これらの不適合について、原形復旧や設備改良などの適切な処理を進めるとともに、プラントの運転に与える影響の評価を実施しているところです。

これまでに全体として半数程度の処理や評価が完了しており、最も処理が進んでいる7号機においては、87%の処理が完了しております。なお、残りの13%については、蒸気タービン・発電機に関する不適合であり、これらの設備の復旧に合わせて不適合処理が完了する予定です。

各号機における不適合処理の進捗状況につきましては、今後も毎月の不適合管理報告の中で定期的にお知らせしてまいります。

私からは以上です。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表(運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成20年11月)

平成20年11月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況											補足説明
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止!											
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止!											
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止!											
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止! ↑原子炉自動停止											
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止!											
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10~H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止!											
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23~H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止!											

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

10月	0.0%
20年度累計	0.0%
運転開始後累計	70.5%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

10月	0
20年度累計	0
運転開始後累計	80,191,836

④ ドラム缶発生量(本) (H20年度第2四半期)

当期発生本数	201
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,751
貯蔵庫保管容量	30,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H20年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (11月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	828	2,764	44%
	刈羽村	94	290	5%
	その他	76	1,218	16%
	小計	998	4,272	65%
県外		122	2,759	35%
合計		1,120	7,031	—
		8,151		100%
協力企業社数(社)		823		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

	10月	年度累計
地元	1,872	10,551
県内	1,501	9,378
県外	4,386	23,201
国外	31	251
合計	7,790	43,381

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
11月20日	フラエクササイズを体験してみよう(柏崎エネルギーホール)
11月20・21日	第131回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
11月22日	収穫祭(き・な・せ)
12月1日~14日	ふれあい訪問
12月11日	次回定例所長会見予定
12月13日	ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィー) 経麻郎・中林恭子ジャズライブ
12月19・20日	クリスマスケーキ作り(柏崎エネルギーホール)
12月20・21日	冬のふれあいイベント(サービスホール)
12月20日	そばうち体験教室(き・な・せ)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成20年11月13日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	10月15日	免震重要棟新築工事現場（屋外）	免震重要棟新築工事現場（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	-
	10月17日	7号機	タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分）	-
	10月17日	7号機	原子炉建屋の上部格納容器内（管理区域）におけるけが人の発生について（区分）	-
	10月22日	7号機	原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分）	-
	10月24日	5号機	主変圧器基礎周辺部（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	-
	10月28日	1号機	海水熱交換器建屋（非管理区域）における水漏れ（雨水）について（区分）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の1号機において、平成20年10月27日午前9時55分頃、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室（非管理区域）の天井から水が漏れていることを確認しました。</p> <p>（原因） 調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかりました。ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定しております。</p> <p>（安全性、外部への影響） 海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでおりません。</p> <p>（対応状況） 海水熱交換器建屋（非管理区域）に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施しました。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水しました。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善します。また、今回雨水が流入したことにより、海水系の弁の現場制御盤等の一部に水がかかりましたが、今後これらの設備についても点検を実施します。</p>
	11月4日	5号機	所内変圧器基礎周辺部（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	-